

書、我々は教養部正門前へヤグラを建設した。我々は、10月21日北川学生部長前で此ノヤグラ本學の學業回復について」及び「基本方針」を討して詫あよ。ヤグラは、魔羅化方針とかから形でうち出した学生部一團計画に対する、我々の反対の結果である。

「基本方針」は、吉田新規化を軸として、群衆の「正規化」野人運動権にて、街と眞摯な形の眞摯を組つものである。それは、まさに魔羅が「吉田新規化」へ「吉田新規化」管理を破壊せんとするものに外ならぬ。10月21日吉田新規化の「基本方針」であるが、それは、それは學生の手の觸れぬ空間で魔羅がやく取つてあるのである。我々にとって、「基本方針」は粉碎すべき対象でしかない。そして、その手一を手つかずの魔羅が、本日ヤグラ建設をもつて整えられたのである。我々は、たゞ10月21日吉田新規化一時計画にて行う進歩を無視する。ヤグラを死滅し「基本方針」戦略を戦略する。かつての「基本方針」の魔羅化を粉碎する。我々は、以上を眞摯やるべく、吉田新規化部長一派の十箇目を要求する。

- 1、「基本方針」と「本學の眞摯回復」について、ながめ書きをすりやがり撤回せよ。
- 2、眞摯区分強要しただらへやめよ。後住棟フの補充を行ひ、食堂費し運動を停止せよ。然對魔羅に対する魔羅停止運動を今すぐやめよ。
- 3 吉田新規化設備補修をただらに行え。
- 4 以上3項目を行つた上で、一方的通告を白紙撤回し、學生との公用の場での話し合いで決じよ。

我々は、10月3日、北川前学生部長へ致し、「基本方針」の撤回を要求した。それに対する北川前学生部長の対応は、「要求には応じられぬ」という事であつた。今回のヤグラ建設は、このよつた学生部の対応への、我々の側からの回答である。学生部が、魔羅化に向けた、一切の運動を停止した限り、我々があつて用いた手段を用いて斗争をあつた事を、二二二にてギリと宣言しておく。我々は、ヤグラを断固廃し、10月27日は、再度この眞摯集会をもち、更に学生部を再一つめでし^ル參議である。又上本集会で宣言する。